

■お願い

- この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。
- 取付けねじは、必ず指定のものを使用してください。
- 化粧額縁部分は、下枠下端より95mm長いタイプがあります。現場の納まりに合わせて切断してください。

■使用ねじ

(a)	(b)	(仮止め用)
皿木ねじφ3.8×45	ナベタッピンねじφ4×25	スクリュー釘φ2.1×25

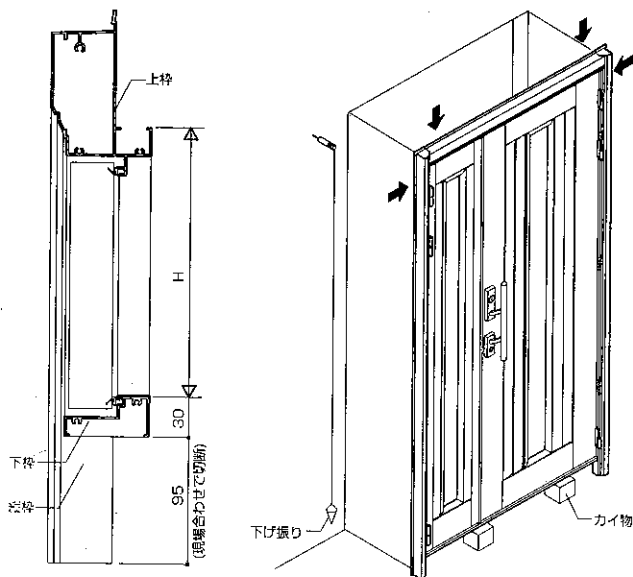
■取付け順序

1 開口部の確認

- ①開口寸法(H・W)は下表(製品基本寸法)をもとに5~10mm大きく作ってください。
- ②下げ振りで前後、左右の狂いや柱同士のネジレなどを正しく調整し、水準器でマグサの水平を出してください。
- ③扉を枠につり込み、一体にして開口部に仮止めします。→印付近に、仮止め用の釘穴(長穴)があります。

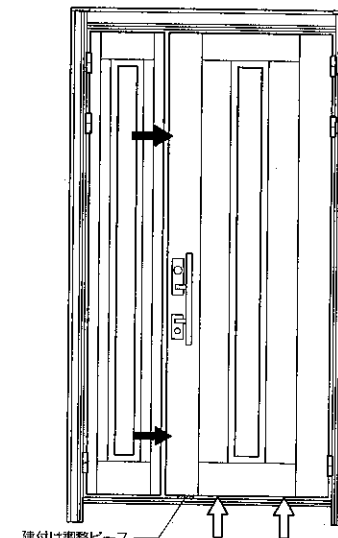
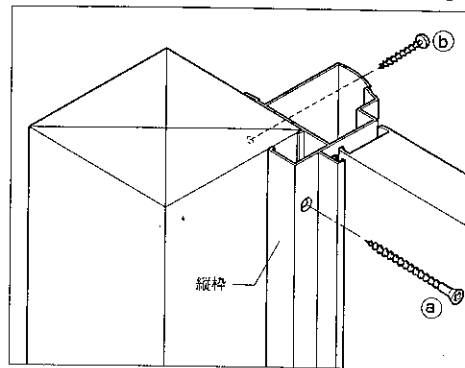
■製品基本寸法表

呼称	30	45	45入隅	60両開き
W	863	1240	1138	1678
H	2330			2330



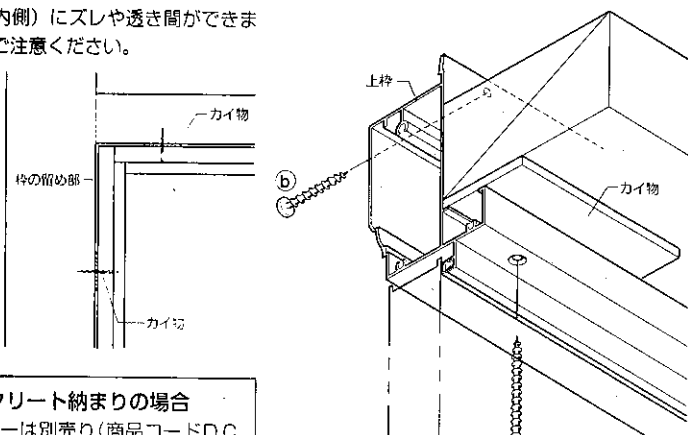
2 躯体への取付けと透き間(チリ)の調整

- ①上下(↑)及び、左右(→)の透き間を均等にし、戸当り気密材が扉と密着するように枠のネジレ・コロビを調整します。
 - ②取付け位置を調整後、建付け調整ピースを外します。次に、ドアの開閉がスムーズにできるか確認した後、本固定します。
- ※建付け調整ピースは取付け調整後、必ず外してください。



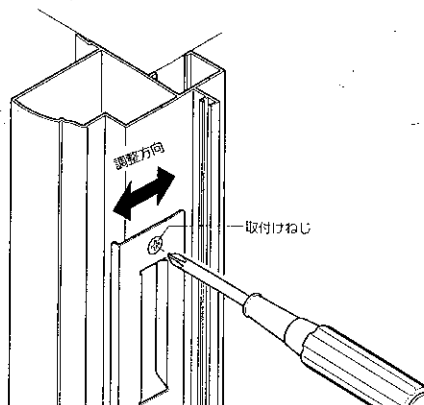
3 躯体への取付け(カイ物のお願)

- 枠と躯体との透き間には、カイ物を当てて固定してください。
- ※カイ物を当てず、固定すると枠の留め部(室内側)にズレや透き間ができますのでご注意ください。



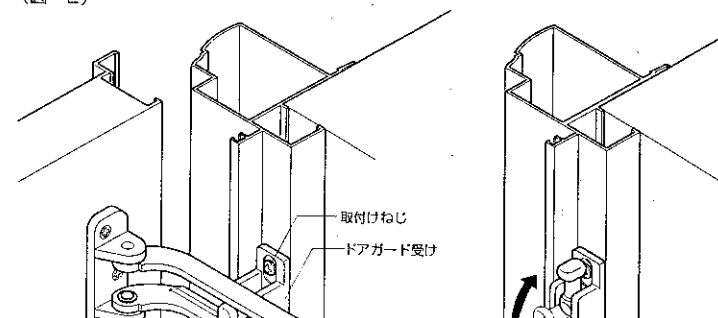
4 ストライクの調整

- ドアロックのラッチがかからない場合は、ストライクの取付けねじをゆるめ、ストライクの位置を調整してください。



5 ドアガード受けの調整

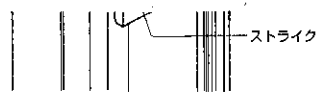
- ※ドアガードが受けにかからない場合は、取付けねじをゆるめ、受けの位置を調整してください。(本体側のドアガードは調整できません。)
- ドアガードがスムーズに操作できるか確認してから本固定してください。(図-1)
- ドアガードを使用しない場合は、突起を起こしてください。(図-2)



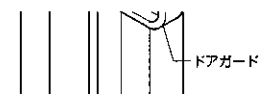
■コンクリート納まりの場合

- アンカーは別売り(商品コードD.C)

取付け説明書はアンカーセットの中に同梱してあります。



(図-1)



(図-2)

6 建付け調整

※本体(または子扉)をつり込んだ後、枠と本体(または子扉)の透き間が納まり図通りになっているか確認してください。
透き間が納まり図通りになっていない場合は、以下の手順で透き間を調整してください。
(納まりは右図を参考にしてください。)

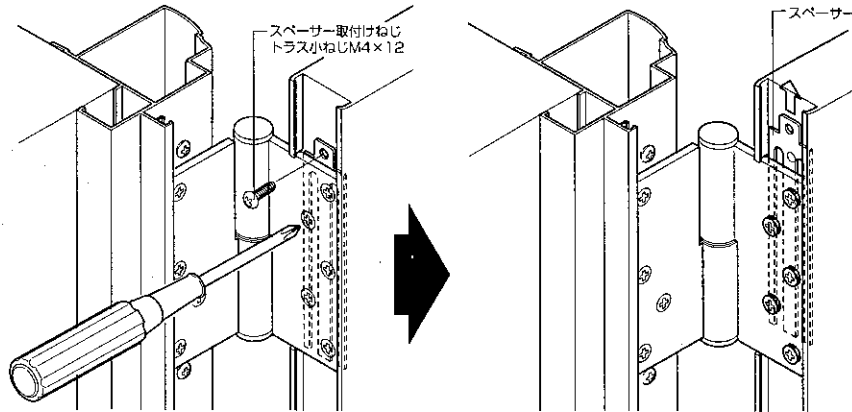
■左右方向の透きの調整

※スペーサーはあらかじめ本体に取り付けてあります。

- ①スペーサー取付けねじを外します。
- ②丁番取付けねじ(5本)をゆるめます。
- ③スペーサーを引き抜いて外します。
- ④丁番ねじを締め付けます。

※スペーサーを1枚外すと1.5mm、2枚外すと3mmドア本体がつり元側へ寄ります。

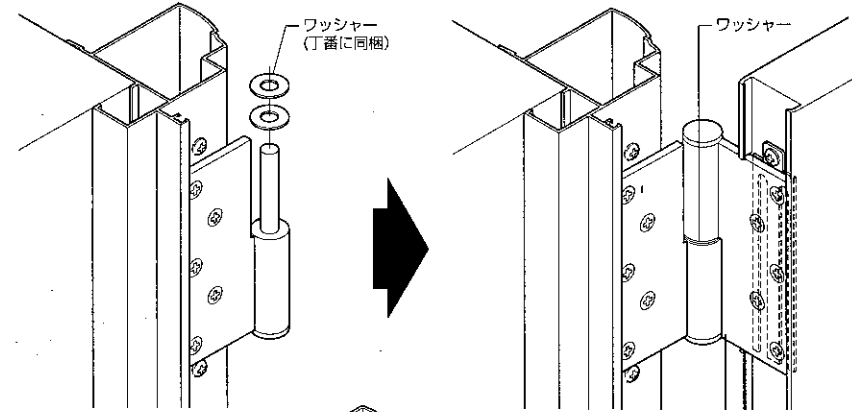
※スペーサーを追加すると、戸先側へ寄ります。



■上方方向の透き間の調整

●ドアを枠から外し、丁番の軸に付属のワッシャー(丁番と同梱)を入れます。

※2枚入れると1.5mm、2枚入れると3mmドアが上へ上がります。



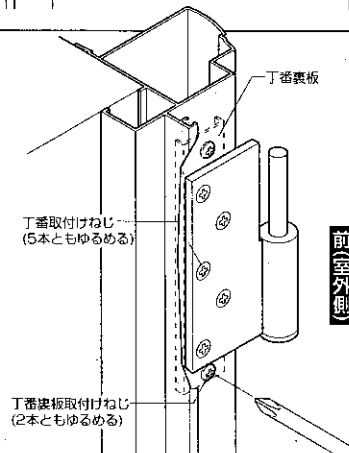
■前(室外側)方向の調整

①ドア本体を枠から外し、枠側の丁番取付けねじ(5本)と丁番裏板取付けねじ(2本)をゆるめます。

【お願い】取付けねじ全部を外さないでください。丁番裏板が脱落します。

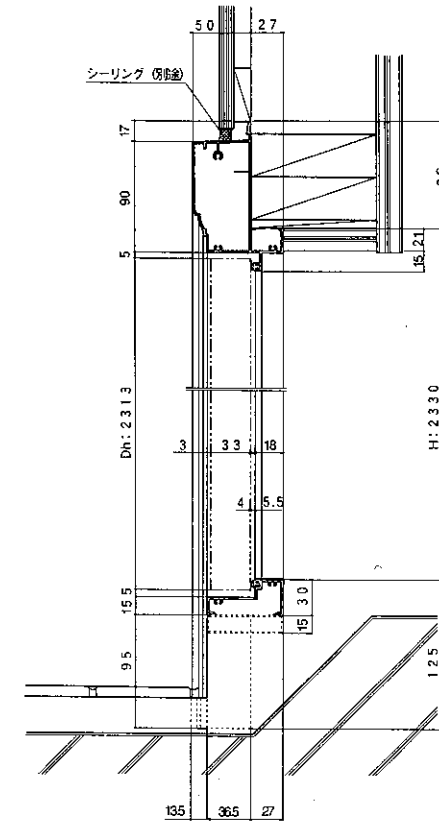
②丁番を丁番裏板ごと前(室外側)に出します。(1mmまでドア本体が出ます。)

③①でゆるめた丁番取付けねじと丁番裏板取付けねじを締め付けます。



参考納まり図

＜縦断面図＞



＜横断面図＞

